

第11回
2014年度

小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール 入選作品集



ご・あ・い・さ・つ



みなさま、こんにちは。防災教育フォーラム開会にあたりまして、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

ご当地仙台では、昨日から「第3回国連防災世界会議」が開催されております。私も日本損害保険協会の会長として、昨日、国連主催の本体会議のパネルディスカッションに参加し、官民一体で運営している日本の地震保険制度について発表を行い、有益な意見交換をさせていただきました。

損保業界では、自然災害に対する取り組みが中長期的に極めて重要な課題であるとの認識のもと、わが国の、そして世界の防災・減災に貢献できるよう、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

さて、本日の防災教育フォーラムでは、第1部で「第11回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の表彰式、そして第2部では、「ぼうさい探検隊」の今後の展望をテーマにパネルディスカッションを行います。

マップコンクールに見事に入賞されました小学生のみなさま、本日は、入賞、おめでとうございます。すでに11年目となる今回は、全国から511もの小学校や団体に参加していただき、過去最多の2,267作品の応募がありました。どの作品も、地域の方々に伝えよう、知ってもらおう、というみなさまの強い思いが伝わってくる力作が多く、審査員の先生方もおそらく入賞作品の決定には大変ご苦労されたのではなかろうかと思っております。

さて、入賞されたみなさまの作品は、そのまま地域の安全マップとして活用できるほどの素晴らしい出来栄になっておりまして、その完成度の高さにみなさまも驚かれていますことと思います。これからも今回の経験をいかして、地域の、そして全国の子どもの防災・減災のリーダー役としておおいに活躍していただければと願っているところでございます。ぜひ頑張ってください。

小学生のみなさんをご指導いただきました、先生方、あるいは地域のみなさま方、これまでの熱心なご指導の成果として入賞されましたこと、誠に同慶の至りでございます。

学校教育におきましては、2015年度から、小学校3、4年生の社会科の教科書に「地域の安全マップ」という項目が新たに取り上げられることになりました。

「ぼうさい探検隊」とは…



子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。子どもたちの「安全・安心への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共育”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主 催

一般社団法人日本損害保険協会／朝日新聞社／日本災害救援ボランティアネットワーク

後 援

内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／
全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県／アジア防災センター／日本損害保険代理業協会





損保業界は、文部科学省が推進しておられる土曜日の教育活動推進プロジェクト、この中における教育ボランティア応援団として協力しております。関係省庁はじめ、プレゼンターのみなさま、日ごろから「ぼうさい探検隊」の取り組みにご理解・ご支援をいただきまして、誠に有難うございます。改めまして感謝申し上げます。

小学生のみなさんのマップ作成にあたり、地域の役所や消防、警察など、みなさま方には日ごろから大変なご支援をいただいていると伺っております。損保業界では、全国一律ではない、地域特性に応じたその地域、地域のリスクの程度が変わってきたということを強く認識しております。そういう意味で、地域特性に応じた防災・減災に取り組む必要があると強く感じております。そうした中でも草の根的な位置づけである「ぼうさい探検隊」の活動というのは、おおいに意義があるものだと考えており、これがさらに世界に広がっていくことを期待しているところであります。

第2部におきましては、防災教育の専門家の先生方や子どもたちに防災マップ作りをご指導されている方々をお招きして、これまでの活動を振り返って、パネルとして今後の展望をご論議いただきたいと思っております。

日本の場合、大型の台風の回数が必ずしも統計上、増えているとはこの数十年間言われておりません。その一方で地域的に、爆弾低気圧等に象徴される集中的な豪雨が非常に増えているというのも事実であります。つまり、地域によって危険の度合いがだいぶ違ってきているという現象が起きているところであります。そういったことも踏まえまして、子どもが主役の防災教育というものが、地域のための防災教育というふうに変わってくると私は信じております。

「ぼうさい探検隊」をはじめ、私どもの防災教育活動、そしてみなさま方の日ごろの防災・減災に対する取り組みが、これからの安心、安全な日本を作っていくその原動力となることを祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、入賞おめでとうでございます。

2015年3月

一般社団法人 日本損害保険協会

会長 櫻田 謙悟

(2015年3月15日開催 第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム
“防災教育フォーラム「子どもが主役の防災教育」の実践”主催者代表挨拶より)



小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

CONTENTS

- 審査の様子……………2p
- 応募作品の傾向……………3p
- 表彰式・審査総評……………4～5p
- 入選作品紹介……………6～27p
- 応募状況……………28～31p
- 過去の入選一覧……………32～33p

審・査・の・様・子

2014年度のコンクールでは、全国47都道府県の小学校や子ども会など511校・団体から過去最多の2,267作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選17作品を決定しました。

審査員の方々からは、「それぞれの作品に良いところがあって、どれも甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童や地域の方々の思いがひしひしと伝わってきて、選ぶのが本当に難しい」といったご意見・ご感想をいただいています。

審査日程

事務局審査：2014年11月17日(月)～26日(水)

第一次審査：2014年12月1日(月)

本審査：2014年12月17日(水)

結果発表：2015年1月16日(金)

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学名誉教授・兵庫県立大学防災教育センター長

さとう ひろき
佐藤 浩樹 氏

文部科学省スポーツ・青少年局 学校健康教育課 安全教育調査官

よっかいち まさとし
四日市 正俊 氏

内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(事業推進担当)

かわい こういち
河合 宏一 氏

消防庁 国民保護・防災部 地域防災室長

のだ たかお
野田 孝夫 氏

文部科学省国際統括官付 日本ユネスコ国内委員会事務局 ユネスコ協力官

なかしろ まこと
中代 誠 氏

気象庁 総務部情報利用推進課長

はせ くによし
土師 邦義 氏

一般社団法人 日本損害保険代理業協会 特命部長

さかの やすろう
坂野 康郎 氏

朝日新聞社 ブランド推進本部長補佐 兼 コーポレートサイト担当部長

てらもと ひろぶ
寺本 弘伸 氏

特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

ふかだ かずまさ
深田 一政 氏

一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事



応・募・作・品・の・傾・向

審査基準

- 地域性・テーマ性**……地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
地域災害の特性や問題点などが明確になっているか
- ビジュアル性**……色や写真、イラストを効果的に使用しているか
多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか
- 提案性**……子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
マップを通して伝えたいことが明確になっているか
- 教育効果性**……マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性（地域災害の特性や問題点など）

- 昨年度は「防災」をテーマとした作品が全体の半数を占めていたが、今回は、「防災」「防犯」「交通安全」の3つのテーマがほぼ同じ割合であった。
- 「防災」をテーマとした作品では、まちなかの消火器・消火栓・消防設備の点検にとどまらず、防災訓練や消火体験などを盛り込み、総合的な防災学習として取り組んでいる団体が増えた。
- 西日本地域を中心に、例年に比べて、水害・台風・豪雨・土砂災害等の自然災害をテーマに取り上げ、浸水範囲を予測した作品が数多く見られた。
- 沿岸地域では、津波を警戒して、海拔を調べる団体が多く、高台へ逃げるルート、避難所に辿り着くまでの時間もあわせて確認している作品も見られた。
- 「防犯」を意識した作品も増えており、連れ去り事件などが発生する中で、防犯に対する学校や保護者の関心の高さが伺える。
- 自動車の交通量を調べた作品や、通学路の危険箇所を指摘した作品が目立ち、なかには、色々な交通標識もあわせて調べ、一時停止を呼びかける作品もあった。

ビジュアル性（地図としての工夫など）

- 全体的に、「安全な所」と「危険な所」を色で区別し、各種マークの凡例も上手に整理されている作品が多かった。「見る人にわかりやすく伝えよう」という姿勢が感じられた。
- 発見コメントや感想を、付箋を使ったりメモをめくる方法で掲載するなど、楽しく見せる工夫をしている作品が多かった。
- 写真のどこがポイントか、写真に丸印を入れたり、目標物を指差した状態で撮影したり、工夫がなされている作品が目立った。
- 「昼」と「夜」に同じ場所を探検し、両方の写真を貼ることで、どのような危険があるか、視覚的に訴える工夫がなされた作品もあった。

提案性（子どもの視点でのまちへの提言など）

- 全体的に、「ここは安全だよ」「危ないよ」「〇〇に注意してね」と、自分達の気付きを表現し、見ている人に向かって呼びかける作品が多かった。
- 市長や自治体などへ、具体的に「改善点」「お願い事」を書いた作品もあったものの、全体的な割合は少ない印象であった。

教育効果性（子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化など）

- 例年以上に、インタビューをしている団体が増加している。インタビューを行うことで、地域コミュニケーションの向上に寄与するとともに、子ども達自身のコミュニケーション能力の向上が図られ、高い教育効果が感じられた。
- 全体的に、調べ学習の充実した団体が増加している。何箇所も歩いて調査したり、インタビューなどから過去の状況を把握し、充実した情報が掲載されてお
- り、このまま地域の安全マップとして活用できると思える作品が数多くあった。
- 低学年と高学年の混成チームで活動した作品や、中学生がリーダー役として参加した作品も数多く見られ、役割分担ができているほど、作品の充実度が高かった。なかには、幼稚園児が参加したチームもあり、低学年の児童でもお兄さん・お姉さん役としてリーダーシップを発揮しているチームもあった。

表・彰・式

2015年3月15日(日)、宮城県仙台市で開催の第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム「防災教育フォーラム」の第1部において第11回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



表彰式前日に、入賞9団体と仙台市内の団体(中山小学校「おやじの会」との「学習交流会」を開催



入賞団体の指導者から防災を学ぶ子どもたち



各団体の子どもたちによる写真やマップを使った「ふるさと」紹介





審・査・総・評



審査員長

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授
兵庫県立大学 特任教授

まず最初に、入賞・入選されたみなさまに心からおめでとうと申し上げます。また、惜しくも入賞・入選には至らなかった2,200を超える、参加いただいたすべての作品を作られた皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。

今回は、マップコンクールを始めてちょうど11年目に当たります。11年目というのは、10年の節目を終えて、さらなる高い山に向かって再スタートする時だというふうに思います。その再スタートの1年目、ということで申し上げますと、とても素晴らしい作品をたくさん寄せていただきました。それはとても素晴らしいことだと思います。

今日は北海道の皆さんも来られています。北海道に大雪山という山があり、標高は2,290メートルです。今回応募いただいた作品を全部縦につなぐと、大雪山の高さになります。それだけ多くの作品が寄せられたということです。その一つ一つの作品の中にたくさんの小学生の思いがこもっている。それはとても高いだけではなく、とても重いものだと思います。このコンクールは、入賞・入選された作品だけではなくて、多くの小学生のみなさんの思いがこもったその重み全体がとても素晴らしいことだというふうに思っています。私の気持ちは次には富士山（標高3,776メートル）を越えたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

次に中身について一言申し上げます。少し難しい言葉で小学生の皆さんにはわかりにくいかもしれませんが、「画竜点睛」という言葉があります。竜の絵を描く絵師、言い換えると絵描きさんがいるのです。一生懸命尻尾を描いたり頭を描いたりして、とてもきれいな絵を描いていきます。でも最後に目の瞳をつけることによって、いきいきとその竜は飛び立つようなそういう力を得ることを、「画竜点睛」と言うのです。私は10年にして、画竜点睛というか、最後の、とても素晴らしい瞳というか、目が入ったというふうに思っています。今まで、その地域の中を歩き回って足で運んでいろいろなことを感じました。それから耳を澄ま

して多くのお父さんや周りの大人、さきほど、（入賞団体の児童から）「おっさん」とか「おじさん」という言葉もありましたけれども、その声を聞いて耳を澄まして聞いて、周りの人、あるいはむしろ友達に、お兄さんや弟に手を差し伸べて、素晴らしい作品を作った。だから手も動かし足も使い、目も耳もこらしてきました。でも最後に本当に心をそこに植えるということがとても重要で、今回は科学の心が入ったと思います。歩き回って時間を計る。津波がどこまで来たか、水がいつ、雨の日や晴れの日どこまで来たかということ調べる。ホイッスルの音がどこまで聞こえたかを調べる。まさにそれを大人の科学者以上に科学的な心がそこにあったと思います。そういう意味でいうと、「画竜点睛」というか、一つとても大切な心が、今年が入ったと思っています。

だから来年はいったい何を入れるのかということのはとても難しいのですが、世の中の進化には限りがありません。無限に成長していくので、来年はもっともっと、今度は輝くダイヤモンドのような目が入るかもしれないと思っています。とても素晴らしい目を入れていただいて、とてもありがたいなあと思っているところです。

さきほど申し上げましたように、一つ一つの作品に上下はないと思います。一つ一つの子どもの思いは、2,200の作品にすべて等しいと思います。その中で一つの作品だけを取り上げて申し上げるのは良くないことかと思いますが、あえて話をさせてください。さきほど相馬の「かもめクラブ」の作品が表彰されました。この3年間、なかなか被災地から作品が出てきませんでした。ところが今年は、岩手・宮城・福島から30団体の作品が出ました。これだけでも素晴らしいことです。その中で「かもめクラブ」の作品をご覧になったらおわかりになると思います。3年間の非常に苦しい復興の歩みを子供さんなりにしっかり見つめながら、歩みをしっかりとらえて、とても素晴らしいのは、こうあってほしい未来の提案というものがあります。その中には動物園とか遊園地だとか、公民館も欲しいという提案です。それはそういう子どもさんたちのその夢を、私たちが本当に復興の中で作るのが復興だと思います。復興とは何だろうかということは、まさにその夢を作ることだということ、を、「かもめクラブ」の小学生のみなさんが提案してくれた、とても嬉しい提案だと申し上げて、講評に代えさせていただきます。



文部科学大臣賞

防災	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「南区川沿大雨みまもりたい」
5, 6年生	
10名	



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

去年は受賞できませんでしたが、今年はみんなの努力が形となり、文部科学大臣賞を受賞できて、本当にうれしいです。

指導された 中田 郁美さん

子ども達の思い・考えを形にするのが、こんなに大変だとは思いませんでした。今年は災害が多く、子ども達の心にも残る事が多かったと思いますが、最後に良い思い出が出来て良かったです。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

大雨特別警報や避難勧告が発表されたことをきっかけとして、「大雨危険マップ」づくりを行っているテーマ設定が明確である。

ビジュアル性

一目でこの地域の低い場所、土砂災害の危険箇所が見やすく仕上がっている。

また、地域の平面図だけでなく、断面図も使っていて、川沿いの地区が非常に低い位置にあることが大変分かりやすい。

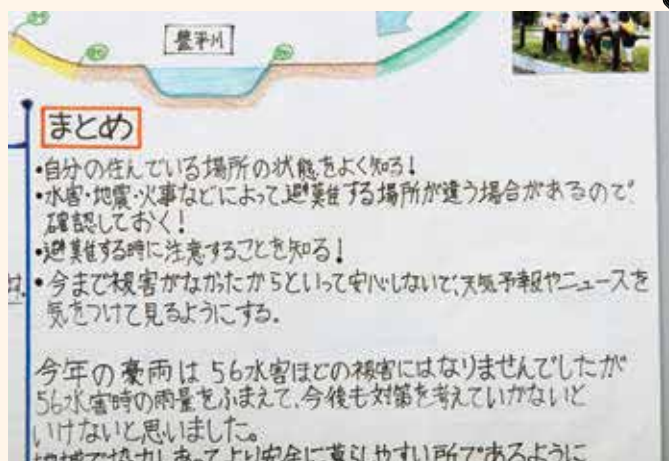
さらに、まちの全景がわかるように写真が貼付されているなど、完成度の高い作品である。

提案性

地域の特徴などの情報や今後の大雨・土砂災害への留意点などが十分にまとめられており、ハザードマップとしてそのまま活用できるという点で、この作品自体が提案になっている。

教育効果性

過去の豪雨被害や特別警報が発表された際の体験、マップに等高線も取り入れた点など、学習の成果が伝わり、非常に教育効果が高い。





防災担当大臣賞

防災	福島県相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ「かもめ防災探検隊」
2, 3年生	
10名	



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

全国の多くの作品の中から、このような素敵な賞をもらい驚いています。大人になった時に、こうなったらいいなあと描いたものが実現して欲しいとの願いを込めてマップ作りに取り組みました。ありがとうございました。

指導された 永井 清美さん

子ども達の中には地震で怖い思いをしたり、津波で家を無くした子もおります。大人になっても忘れない、忘れて欲しくない想いも込めてマップを作るために、強風の中、復興住宅を歩いた事が印象に残っています。素晴らしい賞を頂き感動しています。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

東日本大震災から3年が経ち、「未来へつなぐ3年のあゆみ」というテーマは、子どもたちからみた3年間の状況と、今後の街に対する強いメッセージが感じられる。

ビジュアル性

ベースとなるマップをしっかりと描写したうえで、被害を受けた箇所を明確に示した見やすい仕上げとなっている。そのうえで、震災当時と現在の写真を効果的に盛り込んで、当時と現在の対比がよく伝わるように工夫がなされている。

提案性

慰霊碑などの写真で津波の被害がいかにか大きかったのかということなどを示している。一方で、「こうなったらいいな未来マップ」には、遊園地や動物園などがあり、子どもたちの街の未来への願いが強く伝わってくる。

教育効果性

津波の被害にあった街の施設の現状や災害公営住宅の建設状況を調べ、また、同住宅に住んでいる方にインタビューを行うなど、教育効果が高い取り組みとなっている。





消防庁長官賞

防災
3, 4年生
4名

あいなん ふくうら
愛媛県愛南町立福浦小学校
「風の子ダイヤモンドズ」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

みんなで大喜びしました。地域を探検する時間はとても楽しかったです。たくさん活動したので、何をマップにまとめるのか、大変でしたが、わたしたちの思いやこのマップが地域の役に立つと、もっとうれしいです。

指導された 松田 信さん

災害への備えの意識を高めたくて取り組んだ笛の設置や高齢者への配布、津波安全ライン(海抜20m)の確認、避難サポーターの依頼など、地域と一体となったマップです。頑張ったことへのご褒美！皆様に感謝します。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

「南海トラフ地震」発生時に大きな津波被害が想定される地区においてどの高さまで避難したら安全なのか、具体的な「避難ライン」を設定して注意喚起している点、高齢者が助けを求める手段として吹笛(安全ホイッスル)の届く範囲の検証という点をテーマとして設定していることは、とてもすばらしい。

ビジュアル性

山側と海側を区別のうえ避難経路を凡例でビジュアルに色分けしたり、「避難ライン」より低い場所に住む高齢者の家はどこかを明示している。

さらに、安全ホイッスルの聞こえる範囲をセロハン紙の黄色の円で分かりやすく表現するなど色使い、見やすさに工夫が見られる。

提案性

防災資機材倉庫をどこに設置したらよいかなど、探検を通じて気付いた点を、マップを使って町役場に要望した結果、子どもたちの貴重な提案だと真摯に受け止められた点にも、本マップの強い提案性が感じられる。

教育効果性

自力で避難が困難と考えられる高齢者に安全ホイッスルを実際に配った点、配る際に「自分で自分の身を守る(自助)」、「皆で声をかけ合う(共助)」の言葉を添えた点、地域内の若者に安全サポーターを依頼した点など、地域に対する高い教育効果が感じられる。





まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

防災・防犯・交通安全

1, 2, 5年生

5名

いとまん
沖縄県糸満市立糸満がじゅまる児童センター
「イチマンがじゅまるチーム」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

夏休みに安全マップ作りをがんばってよかったと思いました。地域にはやさしい人がたくさんいるし、あぶない目にあつたらにげる場所も分かりました。今回学んだことを友だちにもおしえていきたいです。

指導された 玉城 侑夏さん

マップ作成にご協力下さった地域の皆さんに感謝します。この活動を通して地域の良さを知ることができ、避難路の看板設置等県が動いてくれました。もしもの時に市民を守り導く地図として役立てたいです。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

小学校から児童センターまでの安全な場所というテーマ性が明確である。
また、シーサーなどが描かれ、地域性が感じられる。

ビジュアル性

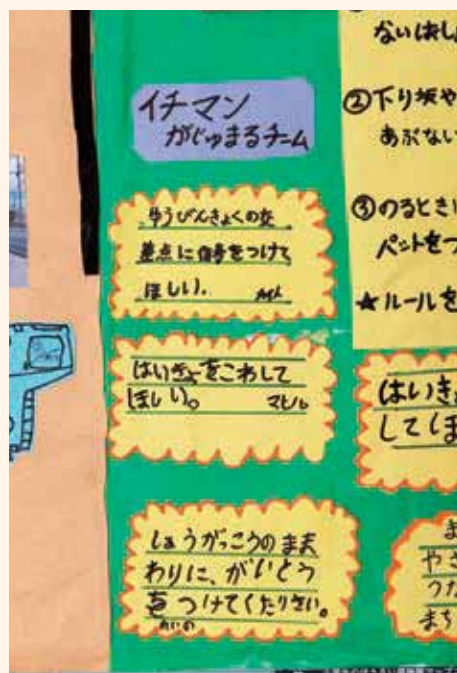
安全な場所や危険な場所などがきちんと色分けして見やすく、色使いも良い。インタビューしたところにはマイクの形のマークもあり効果的である。
また、地図の中に手書きの人が描かれていたりして、シンプルながら手作り感溢れる温かい作品に仕上がっている。

提案性

「はいきよをこわして欲しい」、「しょうがつこのまわりにがいとうをつけてほしい」など、まちなか探検を通じた子どもたち一人ひとりの提案がされている点がよい。

教育効果性

高学年の児童が低学年の児童をサポートして探検・マップ作りに取り組んだことがうかがえる。
また、校長先生や児童センターなどに一生懸命インタビューしている様子がよく分かり、非常に教育効果が高い。





気象庁長官賞

防災

6年生

3名

かしま
茨城県鹿嶋市立平井小学校

「平井っ子 防災探検隊」



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

気象庁長官賞に入賞し、とても嬉しく思います。夏休みも登校し、地域での調査やインタビューも行い、はじめて分かったことも多くありました。このマップが、みんなの命を守ることに繋がったら嬉しいです。

指導された 鴨志田 幸弘さん

海岸部にある本校は、震災以後、自分の命は自分で守ることを中心に防災教育を推進してきました。マップには、これまでの学習と地域防災についてまとめられるよう支援しました。今後も防災意識を高めていきたいです。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

津波から避難するため「よりはやくより高台へにげよう」というテーマ設定が明確で、強いメッセージが感じられる。

ビジュアル性

店や病院、郵便局など町のランドマーク（目印）をふんだんに盛り込むことで、町の雰囲気や特徴がとてもよく伝わってくる。

また、学区内の高台避難場所も赤色で分かりやすく示されている。「避難マップ」としてそのまま使えるほど見やすくまとまっている。

提案性

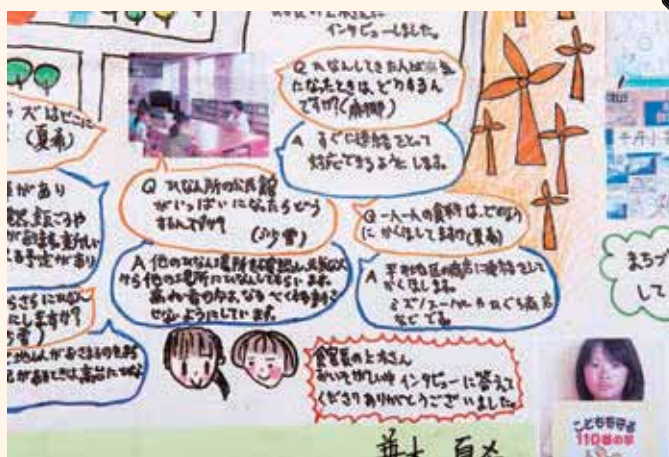
子どもたちが実際に避難ルート歩いて所要時間を調べており、説得力を高めている。

また、避難に時間がかかるため防災バッグをわかるところに置いて素早く行動できるようにしたいという提案を行っている点もよい。

教育効果性

町の中のポイントとなるものがイラストや写真によりマップに多く盛り込まれていて、しっかりと地域を調べている。

また、公民館の館長などにもインタビューを行っている点からも教育効果は高い。





キッズリスクアドバイザー賞

(日本損害保険代理業協会賞)

防災	ガールスカウト千葉県第3団ジュニア部門 「西船KIDS」
4年生	
3名	



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

インタビューをしたり写真をとったりして探検隊の活動は楽しいけれど、マップにするのはすごく大変です。でも、苦労して作ったマップが入賞したと聞いて、それも新しくできた賞だと知って、本当にうれしかったです。

指導された 小山内 美礼さん

6回目の応募ですが、探検隊の活動やマップ作成を通して、楽しく地域を学び魅力も再確認できました。昨年に引き続いての受賞は、今後の大きな励みになります。まちの探検の際にご協力頂いた皆様へ感謝申し上げます。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

地域のレジャースポットであり、東日本大震災で被害を受けた海浜公園の防災安全マップというテーマ設定が特徴的であると感じられる。公園での遊びも紹介され公園に対する愛着も感じられる。

ビジュアル性

多くの情報が盛り込まれているが、スピーカー設置箇所や津波の一時避難場所等にアイコンを用いてデザインを四角に統一し、色使いや写真などにも工夫が施されている。行ったことがなくても公園の状況がすっきりとよく分かるように仕上げられている。

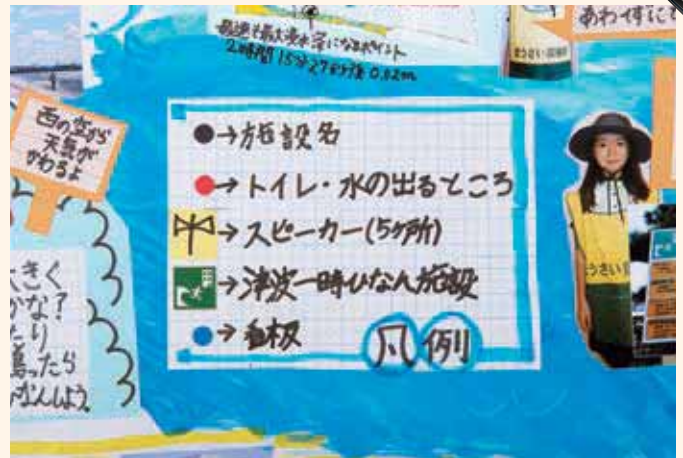
提案性

津波が発生した場合には、「ここに集まれば大丈夫」、「怖がらずにこういう場所に集まりましょう」といった具体的なメッセージが示されており、完成度が高くすぐに役立つ公園の「安全マップ」として、この作品自体が提案となっている。

教育効果性

公園事務所にしっかりとインタビューを行っている。

また、東日本大震災で「液状化現象」が発生したことから、ハザードマップも活用して地域特性を調べ、子どもの足で実際に避難時間を計測するなど、非常に高い教育効果が感じられる。





未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

防災	三重県鳥羽市 ^{あらしま} 安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」
1～6年生	
27名	



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

私たちはぼうさい探検隊に参加して10年目です。今までの探検で町内の人達と関わる事が楽しかったです。小さい時は登るのが大変だった天狗山も今は軽々と登れます！走り回って集めた資料をマップにまとめて完成した瞬間が最高でした。

指導された 中村 欣一郎さん

マップ作りの合間に「東京へ行くぞ！」なんてプラカードを描いていましたが、東京を通り越して仙台まで来てしまいました。今年は自分達の番だと言わんばかりの意気込みに脱帽。この執念でどんな災害に遭っても生き抜いて欲しいものです。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

地震による津波災害の際の避難路について、昼と夜の両方から安全性をテーマとして設定している点が非常によい。

ビジュアル性

山の部分は緑、平地の部分はオレンジというように色分けして、地域の地形が分かりやすく示されている。

また、銅像の写真に非常用持ち出し袋の書き込みなどを入れて遊び心があるのもよい。

提案性

歩行体験を通じて、夜でもライトを用いて早く落ち着いて行動すれば昼と変わらない時間で高台へ避難できることなどを調べており、夜でもあきらめないでほしいという提案の説得力を高めている。

教育効果性

実際に避難することになった状況をイメージして非常用持ち出し袋の中身を考え、また、持ち出し袋の重さがどのくらいになるかを学習しており、高い教育効果が感じられる。





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

防災
2, 4, 5年生
4名

ガールスカウト神奈川県第53団
「GS KANAGAWA 53」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

少人数で取り組んだので不安もありましたが、だからこそ頑張り、今回、賞をいただけてとてもうれしいです。街を歩いてマップを作り、避難場所を覚えたり危険を知ったりする事は、いざという時に役立つと思いました。

指導された 外山 薫さん

私達の住む街を歩いて知ろうと、10年間継続して取り組んできた事が、この度の受賞につながり、大変嬉しく思います。「もし今、災害に見舞われたら…」という子ども達の目線の発見を今後の活動でも活かしたいです。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

広島県の土砂災害をきっかけとして、坂の多い自分たちが住む街の水害の危険性を知ろうというテーマ設定が明確で、子どもたちからの強いメッセージが感じられる。

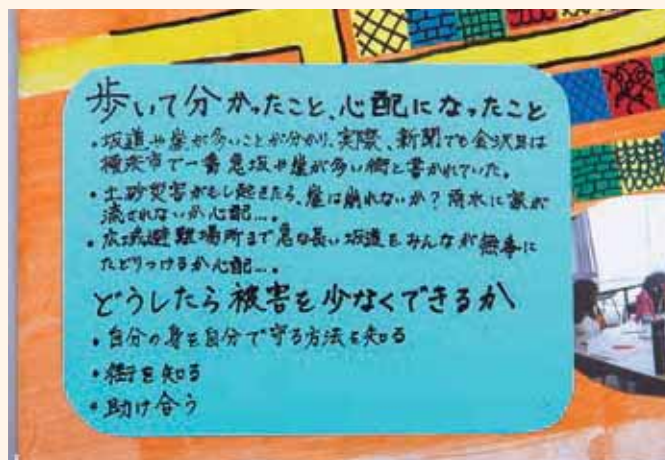
ビジュアル性

色使いや写真に立体感を出すなどによって坂が多いことを表現する工夫が見られる。また、道路が複雑であったり、階段があったりすることなども分かりやすい仕上がりとなっている。



提案性

側溝は普段から草取りをまめにしないと水が溢れるという気づきなど、地域特性に応じてどうしたら被害を少なくできるか、坂の多い町を安全にしていくことの強い提案性が感じられる。



教育効果性

高学年の他、低学年の児童や幼稚園児もまちなか探検に参加し、高学年の児童と協力しながら坂を登っている様子も見られ、子供同士の思いやりや信頼感も育まれていて、高い教育効果が感じられる。





評価されたポイント

地域性・テーマ性

登下校で地下道を利用していることから、子どもたちの目線で安全点検するというところにテーマを絞って設定し、その周辺の子も110番の家も調べており、高い目的意識が感じられる。

ビジュアル性

地下のどこにカメラがあるか、どこが死角になっているかなどが色使いされ、子どもたちの目線で描かれていて、わかりやすい。

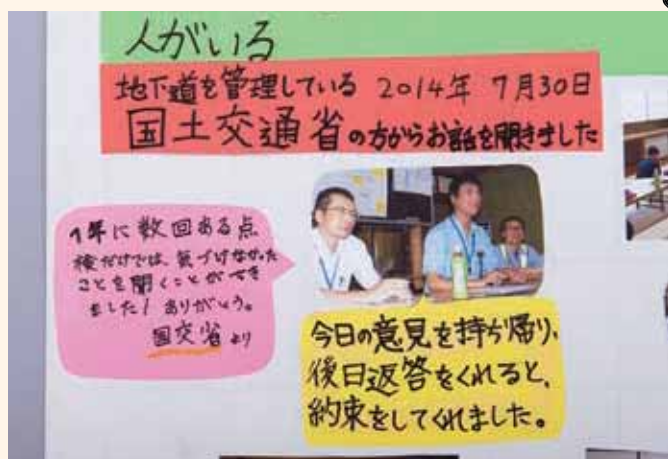
また、危険な箇所には「びっくり」という言葉を使っていて子どもらしい工夫が感じられる。

提案性

実際にまち探検をして気付いた点を、所管官庁の職員との報告会を開催して意見や要望として直接伝えている。この意見・要望に対して所管官庁も真摯に受け止め、後日回答がされていて、実際にまちなか探検を行った子どもたちの経験が力強い提案につながっている。

教育効果性

地域の消防署や金融機関などを訪問し、インタビューを行っている。また、区長などにインタビューを行ったうえで区を通じて所管官庁の職員との報告会を行っており、地域の住民が子どもたちを支援している状況がよくわかる。





審査員特別賞

防災	8名
1, 3, 5, 6年生	

北海道豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

大雨特別警報が発令され、子どもたちが通う小学校が避難所になった経験を踏まえて、水害避難所をテーマにまちなか探検をしており、テーマ設定が明確である。

ビジュアル性

単にマップに色を塗るだけでなく、水色のセロハンを貼って浸水する可能性のある地域を具体的に示し、避難所を立体化してわかりやすい。また、坂道を上りと下りで色分けして、浸水しやすい低い箇所がよくわかる工夫といえる。

提案性

避難時は、長靴は中に水が入るので動きやすいひも靴がよいといった具体的な提案がされている。また、増水時の写真を貼り付けたり、浸水しやすい箇所を具体的に明示したりして、住民への水害時の注意喚起や水害への対策を伝えるメッセージとなっている。

教育効果性

大雨特別警報が発令された際に住民がとった行動をインタビュー形式で説明しており災害時の状況がよく伝わって来る。また、インタビューを通じた感想がしっかりと記載されており、教育効果が高い取り組みとなっている。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

審査員特別賞に選ばれてとても嬉しいです。今回は2014年9月11日に豪雨に襲われたことから水害について調べました。まとめるのに何日もかかり大変でしたが、水害のこわさがよくわかりました。

指導された 二本松 美鈴さん

札幌に初めて大雨特別警報が発令され、災害から自分と地域の人々の命を守り安全に避難できるか？を子ども達と話し合いながら作成しました。そこを評価していただいた受賞は、子ども達の防災意識をより一層高めたいと思います。

防犯	16名
4～6年生	

静岡県清水有度少年教室 「ひまわり探検隊」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

「ひとりだけ・・・」、「まわりからみえない・・・」、「わかれみち・・・」、「りようされていないいえ・・・」の頭文字をとって「ひまわりたんけん隊」とし、「ひまわり探し」としてまち探検で地域の危険な箇所を探す(防犯)というテーマ設定が特徴的である。

ビジュアル性

まち探検を行う中で見つけた危険な箇所を「ひまわり」ポイントとして、独特のマークを付すなどの工夫をしていて、見通しが悪いところや要注意箇所などがわかりやすい。

提案性

まち探検で気づいた危険な箇所は数多いことから、改善される前に「自分の身は自分で守る」として、逃げるための訓練や危険な箇所は歩かないなど、まち探検を踏まえた強い説得力がある。

教育効果性

「ひまわり」という危険な箇所を具体的に設定し、まちなか探検を行い、危険な箇所を発見し、「自分の身は自分で守る」という一連のプロセスがマップを通してよくわかる。防犯のためにどう考え、どう行動していくかを学習しており、教育効果が高い。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

審査員特別賞をいただけたなんてびっくりでとてもうれしいです。普段通る道や公園や広場にも見通しが悪く危険な所がある事が分かりました。これからは、今回学んだ事を忘れずに生活していこうと思います。

指導された 木村 精治さん

防犯をテーマに、「地域を知る・自分の身は自分で守る」体験活動を各専門団体と協働し、実施過程をマップ作成により理解を深めた。受賞は各自の励みと自信、さらなる活動意欲を高め、地域内の活動連携も期待したい。



防犯・交通安全

4年生

16名

福井県小浜市立口名田小学校 ^{くちなた} 「口名田小学校4年生」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

探検の前に、まず地図上で地域の危険箇所を確認(DIG)をして土地勘や当たりをつけてから実際に探検することにより、様々な発見や吸収を行っており、効果的なテーマ設定となっている。

ビジュアル性

危険な場所や主要な避難場所を立体化するなど、低学年の児童でも分かるようにし、シンプルなものにも工夫が見られる。また、具体的に発生した事故の記述もあり、交通量の多さが写真でも伝わってくる。

提案性

「一番きけんなところ」について、長期間にわたり入念に交通量調査を行った結果を丁寧にまとめており、極めて危険な場所であることが実感させられる。さらに、調査結果をチラシにして配布したり、CMを作成して「防災無線」で放送したりするなど、地域の人々に真剣に提案しようとする姿勢が伝わってくる。

教育効果性

長期間かけて、月ごと・時間帯ごとに、さらに、雨の日等天候の違いも考慮して交通量を調べている点、マップ作成以外に、着衣水泳の危険性や防災倉庫を確認している点など、地域密着で学習している教育効果は極めて高い。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

4年生みんなで協力して作ったマップが、入賞してとってもうれしいです。私達が、登下校している道路には、車がよく通ります。事故を防ぐために、毎日、地域の方が見守ってくださいます。感謝をして、安全に登下校したいです。

指導された 正木 啓敬さん

多くの方の協力の下、児童が苦勞して作成した作品を賞に選んで頂き、感謝致します。児童は、地域の方の地道な活動によって、安全が守られていることに気づきました。善意により地域が守られていることを学べて、よかったです。

防災

14名

6年生

滋賀県野洲市社会福祉協議会北野学童保育所 ^{やす} 「北野っ子」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

住宅街の近くに水路があって大雨が降ると氾濫などの危険性が高い地域の実情がよく伝わってくる。

ビジュアル性

住宅地や畑などが丁寧に手作り描かれており、デザインがすっきりしていて作品全体から地域の雰囲気が伝わってくる。さらに、少しずつランドマーク(目印)の施設を入れることで、地域の住民にはどの辺りかが理解できるようにする工夫が感じられる。

提案性

実際に写真を撮って、降雨の際に時間とともにどのように水が溜まってくるのかが分かりやすく示しているので、地域の住民への水害に対する危険性が十分伝わってくる。

教育効果性

災害時の非常用持ち出し品のリストや避難場所など、水害時における必要な情報がコンパクトにまとめられ、ひとつの「水害防災リーフレット」として活用できる作品であり、高い教育効果が感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

小学校最後の夏休み、暑い日の探検で大変でしたが審査員特別賞に選ばれて、とてもうれしいです。私たちの住んでいる地域でも、危険がたくさんありました。この「北野っ子マップ」が地域の方々にも役立てられるとうれしいです。

指導された 山崎 菜里奈さん

6年生が毎日短い時間を利用し、コツコツと仕上げたマップが素晴らしい賞を受けて、とても嬉しく思います。マップ作りを通して、子ども達が身近な所にも危険が潜んでいることを知り、防災について考えることができたと思います。



審査員特別賞

防災・交通安全

2, 4, 5年生 4名

滋賀県高島市マキノ町辻区子供会 「辻区子供会」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

住民が高齢化しているという実情も踏まえ、防火体験や道路の危険箇所調査をしている点に地域性が感じられる。

ビジュアル性

交差点など危険箇所がわかりやすく書かれている。水路の増水時の状況の写真が貼り付けられ水害の危険な様子が伝わってくる。また消化ホースなどをミニチュアで作って手作り感もある。方角や縮尺を入れている点もよくわかる工夫といえる。

提案性

防災や交通安全に関する地域の実情や特徴が写真も使って総合的に盛り込まれていて、この作品自体が安全な町づくりのためのメッセージとなっている。

教育効果性

世帯構成(特に高齢者世帯(単身か夫婦か))や間伐材を使って交通標識が作られていること、過去の雪害など地域をしっかりと調べている。また、地域の住民と一緒に、消火ホースを実際に伸ばして自宅までの必要な長さの調査や、「煙体験」、「ぼうさいダック」、「地震体験」など体験型学習を行っている点で教育効果は非常に高い。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

連絡を受けてとてもうれしく思います。最初は防災訓練は大人がすることだと思っていました。でもやってみると自分達でも出来ることがあることがわかりました。この体験を忘れず、みんなでがんばっていきたいと思います。

指導された 高屋 博之さん

集落も高齢化が進み今まで出来ていた訓練が出来なくなってきました。子供でも使え、高齢者に優しい消火栓をテーマに防災についてみんなで考えまとめたマップです。受賞をととてもうれしく思います。ありがとうございました。

防災・防犯・交通安全

6年生 7名

和歌山県橋本市立^{おうご}応其小学校 「いのちをまもる」

評価されたポイント

地域性・テーマ性

水害、地震、火災という様々な災害について、生活の中にある防災関連施設などをよく調べている点が素晴らしい。「いのちをまもる」といふマップのテーマが伝わってくる。

ビジュアル性

マップはシンプルであるものの、4コマ漫画で災害用自動販売機が役立つことを説明したり、調べた防災関連施設のことがマップの周りにうまくまとまっていたりして、見やすい。

提案性

ガソリンスタンドが避難場所として安全であるということをもとに用いて説明していることで説得力があり、細い道についてどうすればよいかの解決方法を示すなど提案を行っている点がよい。

教育効果性

道路脇の溝について詳しく分析をしたり、普段見ることの出来ない防災器具庫の中やマンホールの蓋を開けたりし、地域をしっかりと探検している様子が一目でわかり、非常に高い教育効果が感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

自分達の住んでいる地域の危険な所がどこか調べました。下級生が見てもわかりやすいように工夫して作ったマップで、素晴らしい賞をもらえてうれしいです。これからも、下級生や地域の人の役に立つよう調べたいです。

指導された 北村 美紀さん

地域の多くの方々に協力いただきマップができました。防災・防犯と共に地域とのつながりの大切さも学びました。これからも活動を続け、最善を尽くし自分の命は自分で守る自助、つながりによる共助の意識を育てます。





防災	10名	広島県府中町少年少女消防クラブ 「府中町 女子チーム」
	3～5年生	

評価されたポイント

地域性・テーマ性
 県内の土砂災害をきっかけとして、「土砂災害に備えよう」というテーマ設定が明確で、子どもたちからの強いメッセージが感じられる。

ビジュアル性
 色使いを工夫することで、山と水(浄水場)に囲まれ土砂災害や水害の危険性が高い街であることがわかりやすい。また、今後、土砂災害が発生するおそれが非常に高い箇所の写真を貼付することで、土砂災害の危険性の高い箇所があることが伝わってくる。

提案性
 砂防ダム設置などのハード対策は、子どもたちでは出来ないことを認識したうえで、まずは危険な箇所を把握して早めの避難対策が大切であり、そのために、地域の人々に街の実情を良く知ってもらいたいというメッセージが伝わってくる。

教育効果性
 住民にインタビューして事前学習がしっかりと行われている。また、土石流とガケ崩れの違いや、その前兆などについても細かく調べられていて、教育効果が高い。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん
 防災マップを作る時、土砂災害がおきた時に急な斜面のような危険な場所がどうやったら分かりやすいかを考えて、写真やシールをはったりマーカーで色を目立たせました。その結果特別な賞をもらえてとてもうれしいです。

指導された 神田 直哉さん
 広島での大雨による土砂災害の影響もあり、クラブ員達が防災マップのテーマを決めました。実際に急傾斜地等を見て回り、その近隣に住まわれている方にインタビューをするといった姿勢が、受賞につながったのだとうれしく思います。

防災	5名	愛媛県愛南町立緑小学校 「ぼうさいグリーン隊Cチーム」
	5～6年生	

評価されたポイント

地域性・テーマ性
 通学路など土砂災害や水害に応じた避難経路の安全性を点検するためまちなか探検をしており、テーマ設定が明確である。

ビジュアル性
 一目で、地形の高低や急傾斜地がわかりやすいように色の濃淡をつけるといった色使いの工夫が見られる。しっかりしたアイコン(凡例)が設定されており、避難経路も色付けした矢印で示してあり、わかりやすい。

提案性
 災害時にどこを通過して避難すればよいか、どこが危険なのかというメッセージが強く伝わってくる。また、まちなか探検を通じて「5・6年生がみつけた避難場所」を提案している点もよい。

教育効果性
 過去に地域で起きた水害の体験や、堤防やよう壁など災害防止のための地域の施設について住民にインタビューをしたりするなど、教育効果が高い取り組みとなっている。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん
 ぼくたちはより多くの地域の方々に役立つマップを目指して、危険箇所の探索を通してマップづくりに取り組みました。賞をいただき大変うれしいです。

指導された 二宮 由美さん
 町の防災教育の指定を受けて2年目、児童が学習した成果を防災マップという形で発信することができました。児童自身の意識の向上が何よりの成果です。

応・募・状・況

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	22	136	札幌東月寒少年消防クラブ／別海町立上春別小学校／えりも町立東洋小学校／上富良野町立上富良野小学校／札幌市立西宮の沢小学校／札幌稲穂金山少年消防クラブ／苫小牧市立拓勇小学校／奥尻郡奥尻町立青苗小学校／ボーイスカウト留辺蘂第2団／札幌南区川沿少年消防クラブ／星置少年消防クラブ／すきっぷ「ふれあい教室」／石狩市放課後児童会花っ子クラブ／函館市学童保育の会おひさまいろクラブ／苫小牧市立澄川小学校／札幌市立新琴似北小学校／豊平区月寒少年消防クラブ／上江別第一自治会青少年防火クラブ／札幌市立美香保小学校／札幌市あやめ野児童会館／札幌市立幌北小学校／札幌市立太平南小学校
青森	2	9	八戸市立八戸小学校／中泊町子ども会育成連合会
岩手	14	29	岩泉町立浅内小学校／矢巾町立徳田小学校土橋子ども会／ガールスカウト岩手県第14団／紫波町立日詰子どもの家／紫波町立水分小学校／やはば東こどもの家／紫波町立星山小学校／盛岡市南仙北二・三丁目町内会子ども会／一関市立巖美小学校 PTA／陸前高田市立高田小学校／上山地域公民館児童部／盛岡市立厨川小学校境田一区子ども会／盛岡市立厨川小学校境田二区子ども会／中の橋子ども会
宮城	9	25	蔵王町立円田小学校／仙台市立遠見塚小学校／仙台市榴岡児童館／気仙沼市立小原木小学校／仙台市田子児童館／仙台市六郷児童館／中山小おやじの会／仙台市立上野山小学校防犯巡視員歩く110番“友の会”／仙台市立貝森小学校
秋田	5	27	大仙市立藤木小学校／向ヶ丘連合子ども育成会／能代市立湊城西小学校／大館市立有浦小学校東有浦探検隊／能代市立第五小学校
山形	7	13	五十鈴第二町内会子供育成会／浜中学区学童保育所／鶴岡市双葉町子ども育成会／酒田市立広野小学校／新庄市立日新小学校玉の木子ども会／ボーイスカウト山形第43団／嶋北子ども育成会
福島	6	11	相馬市立飯豊小学校／ガールスカウト福島県第5団／まゆみ放課後児童クラブ／相馬市川原町児童センター／相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブかもめクラブ／相馬市立大野小学校放課後児童クラブたんぼぼクラブ
茨城	8	78	やちよエコクラブ／神栖市立大野原小学校／取手市つつじが丘自治コミュニティサロン／日立市立金沢小学校／ボーイスカウト日立第7団カブスカウト隊／鹿嶋市立平井小学校／神栖市立矢田部小学校／笠間市立福田小学校
栃木	2	2	ボーイスカウト鹿沼第4団カブ隊／宇都宮市立中央小学校
群馬	7	32	富岡市立黒岩小学校／前橋市立山王小学校／渋川北小探検隊／渋川市立渋川南小学校／伊勢崎市北小こども会／高崎市立金古小学校／大泉町北児童館ひまわりエコクラブ
埼玉	12	148	伊奈町立小針北小学校／川口市立新郷小学校／八潮市立大瀬小学校／鴻巣市立大芦小学校／春日部市武里地区公民館／草加市立清門小学校／川口市立芝児童センター／杉戸町立高野台小学校／川口市立戸塚児童センターあすばる／ボーイスカウトさいたま10団カブ隊／ボーイスカウトさいたま104団カブスカウト隊／上尾市立上平北小学校
千葉	25	152	いすみ市立大原小学校／船橋市立習志野台第一小学校／千葉市立西小中台小学校／市川市立若宮小学校／いすみ市立中根小学校／市原市立水の江小学校／館山市立館山小学校／印西市立小林小学校／市原市立姉崎小学校／千葉市立若松台小学校／ボーイスカウト松戸第四団カブ隊1組／香取市立香取小学校／富津市立佐貫小学校／浦安市当代島公民館／小竹学童保育所／香取市立小見川中央小学校／ガールスカウト千葉県第30団／ガールスカウト千葉県第65団／睦沢町立土睦小学校／ガールスカウト千葉県第3団ジュニア部門／市原市立菊間小学校／ボーイスカウト佐倉第3団カブスカウト隊／松戸市立新松戸西小学校4年生／松戸市立松ヶ丘小学校／千葉市立高洲第四小学校



表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
東京	66	482	大田区立大森第一小学校／多摩市立西愛宕小学校／日本堤消防少年団／練馬区立南田中小学校／江戸川区立第二葛西小学校／荒川消防少年団／日野消防少年団／武蔵野市立千川小学校／豊島区立富士見台小学校／浅草消防少年団／品川区立山中小学校／東村山市立萩山小学校／杉並区立天沼小学校／清瀬消防少年団／麴町消防少年団／多摩消防少年団／新宿区立西新宿小学校／矢口消防少年団／中野消防少年団／野方消防少年団／板橋区立高島第一小学校／江戸川区立第六葛西小学校／牛込消防少年団／板橋消防少年団／小金井消防少年団／豊島消防少年団／小岩消防少年団／江戸川区立二之江第三小学校／高輪消防少年団／日本橋消防少年団／昭島消防少年団／新宿区立津久戸小学校／国分寺消防少年団／足立区立伊興小学校／ボーイスカウト葛飾第9団／石神井消防少年団／足立区立青井小学校／台東区立台東児童館／江戸川区立新堀小学校／日野市立夢が丘小学校／八王子市立清水小学校／ボーイスカウト練馬第15団カブスカウト隊／大田区立洗足池小学校／ボーイスカウト北第1団／板橋区立高島第五小学校／江戸川区立西小岩小学校／日野市立日野第五小学校／千代田区立麴町小学校ワーク・わく・クラブ／日野市立日野第二小学校／品川区立小中一貫校伊藤学園／東京都立城南特別支援学校／小宮久保地区子供会／北区立第三岩淵小学校／八王子市立由木西小学校／世田谷区立烏山北小学校／板橋区立高島第二小学校／小平市立小平第十四小学校／江東区立南陽小学校／杉並区立杉並第一小学校／国立市立国立第七小学校／墨田区立八広小学校／多摩市立南鶴牧小学校／北区立東十条小学校／八王子市立由井第一小学校／文京区立指ヶ谷小学校／新宿区立戸塚第一小学校
神奈川	18	86	枳形こども文化センター／横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会岩井町原地区／厚木市立清水小学校／横浜市立汐見台小学校／厚木市立森の里公民館地域子ども教室／川崎市立富士見台小学校／ボーイスカウト藤沢第16団ビーバースカウト隊／釜利谷赤井セーフティガールズ(横浜市立釜利谷東小学校4年有志)／王禅寺こども文化センター／横浜市立高田小学校／ガールスカウト神奈川県第53団／相模原市立富士見小学校／倉田キッズ探検隊／ボーイスカウト横浜第87団カブスカウト隊／伊勢原市立成瀬小学校／伊勢原市下落合子供会／下平間こども文化センター／横浜市立斎藤分小学校
新潟	5	8	村上市立さんぼく南小学校／村上市立砂山小学校／魚沼市立小出小学校／塩沢金城わかば児童館／南魚沼市立中之島小学校
富山	5	8	富山大学人間発達科学部／上市町立上市中央小学校／滑川市宮窪児童会／小矢部市立津沢小学校／立山町少年消防クラブ
石川	54	89	加賀市立勅使小学校／金沢市立花園児童館／新神田校下少年連盟／津幡町立萩野台小学校／小松市立第一小学校3年生／中能登町立鳥屋小学校末坂地区末坂子供会／古屋敷キッズ／かほく市子ども会(宇ノ気支部上山田子ども会／宇ノ気支部大崎子ども会／宇ノ気支部内日角子ども会(青葉・青空)／宇ノ気支部曙町子ども会／宇ノ気支部向野子ども会／宇ノ気支部旭町子ども会／宇ノ気支部大橋子ども会／宇ノ気支部横山子ども会／宇ノ気支部森子ども会／宇ノ気支部鉢伏子ども会／宇ノ気支部狩鹿野子ども会／宇ノ気支部宇気子ども会／宇ノ気支部指江子ども会／宇ノ気支部本町子ども会／宇ノ気支部七窪子ども会／宇ノ気支部上田名子ども会／七塚支部白百合子ども会／七塚支部青空子ども会／七塚支部若草子ども会／七塚支部はまなす子ども会／七塚支部木津よつば子ども会／七塚支部松浜みどり子ども会／七塚支部ひばり子ども会／七塚支部外日角子ども会／高松支部内高松子ども会／高松支部旭町子ども会／高松支部夏栗子子ども会／高松支部上伊丹町子ども会／高松支部瀬戸町子ども会／高松支部南中町子ども会／高松支部中沼子ども会／高松支部六軒町子ども会／高松支部古宮町子ども会／高松支部南新町子ども会／高松支部大海東部子ども会／高松支部東町子ども会／高松支部学園台子ども会／高松支部双葉子ども会／高松支部下伊丹町子ども会／高松支部長柄町子ども会／高松支部北新町北中町子ども会／

応・募・状・況

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募 団体数	応募 作品数	学校・団体名
石川	54	89	高松支部桜井町子ども会／高松支部岸川町子ども会／高松支部元町子ども会／高松支部上北町子ども会／高松支部二ツ屋子ども会／高松支部流川子ども会)
福井	8	25	小浜市立口名田小学校／越前市武生西小学校／あわら市金津東小学校／坂井市立春江西小学校／坂井市立長畝小学校／坂井市立三国西小学校／灯明寺子ども会／坂井市立三国南小学校
山梨	2	2	ボーイスカウト富士吉田第一団ビーバー隊／ 笛吹市立春日居小学校
長野	8	19	安曇野防犯協会連合会／中山児童センター／ 伊那市立伊那東小学校 ／ガールスカウト長野県第34団／松本市寿台児童館／南郷児童館／岡田児童センター／内田児童館
岐阜	5	20	可児市立広見小学校／ 下呂市立上原小学校 ／大垣市立時小学校／細畑こども会／恵那市立明智小学校
静岡	17	126	静岡市立清水飯田小学校／静岡市立清水興津小学校／ガールスカウト静岡県第24団／ガールスカウト静岡県第45団／静岡市立清水三保第一小学校／焼津市立焼津西小学校／ガールスカウト静岡県第30団／なかよし兄妹／袋井市立袋井北小学校／ガールスカウト静岡県第34団／ガールスカウト静岡県第93団／浜松市中央地区少年消防クラブ／佐久間地区少年消防クラブ／天竜地区少年消防クラブ／静岡市立井宮北小学校／ 清水有度少年教室 ／ガールスカウト静岡県第38団
愛知	23	124	豊田市立足助小学校4年生／あま市立秋竹小学校／碧南市立棚尾小学校／名古屋市立ほのか小学校則武学区連絡協議会／正木 KIDS FIRE GUARD／橘キッズファイヤーガード／KYT／半田市立成岩小学校／ 名古屋市立内山小学校 ／ボーイスカウト大治第一団カブスカウト隊／豊田市立滝脇小学校／日進市立梨の木小学校／日進市立日進西小学校／日進市立日進北小学校／日進市立日進東小学校／日進市立竹の山小学校／日進市立日進南小学校／日進市立相野山小学校／日進市立赤池小学校／日進市立香久山小学校／豊田市立若林東小学校／高針原町内会／豊橋市立栄小学校
三重	12	66	あらっこ放課後子ども教室／かもっこ放課後子ども教室／はったぼうさい探検隊／度会町立度会小学校／志摩市立和具小学校／ 津市立栗真小学校 ／亀山市立亀山東小学校／放課後児童クラブたつの子会／ 伊賀市立新居小学校 ／いなべ市立西藤原小学校／ 鳥羽市安楽島子ども会 ／鳥羽市立加茂小学校
滋賀	9	11	小津児童クラブ室つくしんぼクラブ／大宝学童保育所たけのこクラブ／大宝西学童保育所星の子クラブ／ 北野学童保育所 ／湖南幼年女性防火委員会／ 高島市マキノ町区子供会 ／湖南市三雲児童館／児童育成クラブのびっ子笠縫東／児童育成クラブのびっ子渋川
京都	10	35	太秦こどもぼうさい土曜塾／京都市立大枝小学校／京都市立砂川小学校／ボーイスカウト京都第77団カブ隊／ 山田 Kids 5 ／京都市立翔鸞小学校／京都市立桂徳小学校／京都市立養徳小学校／南丹市立平屋小学校／ 銅駝自治連合会と子供たち
大阪	11	45	貝塚市立中央小学校／ ボーイスカウト富田林第2団カブスカウト隊1組 ／ボーイスカウト富田林第2団カブスカウト隊2組／ボーイスカウト富田林第2団カブスカウト隊3組／豊中市立東豊台小学校／豊中市立泉丘小学校2年／大阪市立田川小学校／堺市立五箇荘小学校放課後ルーム／堺市立三原台小学校放課後ルーム／堺市立錦西小学校／ガールスカウト大阪府第21団
兵庫	12	35	南あわじ市立三原志知小学校／神戸市立若宮小学校／ 相生市立相生小学校 ／中山手四丁目町会若人の会／なぎさ・くらし支援センター／鳥羽まちづくり協議会／ガールスカウト兵庫第6団／武庫第11社会福祉連絡協議会／伊丹市立人権啓発センター「ふらっと」児童館にじいるクラブ／三木市立口吉川小学校／洲本市立由良小学校防災たんけん隊／春日台防災防犯・福祉コミュニティ防災ジュニアチーム



表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
奈良	4	5	ガールスカウト奈良県第28団／ガールスカウト奈良県第41団／ガールスカウト奈良県第22団／平城小学校平城っ子会
和歌山	7	37	広川町立広小学校／橋本市立応其小学校／上富田ふれあいルーム／かつらぎ町丁ノ町児童館／新宮市立三輪崎小学校／和歌山市立松江小学校／内ヶ坪町内会
鳥取	1	1	ガールスカウト鳥取県第1団
島根	3	4	松江市立来待小学校地域探検クラブ／地域自主組織新市いきいき会／出雲市立中部小学校
岡山	4	11	緑丘児童クラブ／東中子どもクラブ／倉敷市立連島北小学校／瀬戸内市立牛窓東小学校
広島	9	75	広島市立安西小学校／府中町少年少女消防クラブ／府中町立府中南小学校／五日市ジュニアラグビースクール／安芸高田市立根野小学校／呉市立倉橋小学校／広島市立落合小学校／府中町立府中中学校／熊野町立熊野第一小学校
山口	7	20	下上探検隊／下関市立江浦小学校／下関市立角倉小学校／水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊／下関市立豊浦小学校／山口市立陶小学校／岩国市立柱野小学校
徳島	3	5	吉野川市立上浦小学校／小松島市立江小学校4年生／小松島市立芝田小学校
香川	6	45	白方地区児童館／高松市立男木小学校／高松市立三溪小学校／多度津地区児童館／丸亀市立城辰小学校／丸亀市立飯山北小学校
愛媛	7	14	愛南町立東海小学校／愛南町立福浦小学校／宇和島市立蔭淵小学校／今治市立亀岡小学校／愛南町立中浦小学校／愛南町立緑小学校／愛南町立船越小学校
高知	6	16	土佐清水市立下川口小学校／室戸市立佐喜浜小学校／本山町立吉野小学校／黒潮町立三浦小学校／四万十町立十川小学校／四万十町立興津小学校
福岡	4	5	八女市黒木少年消防クラブ／風師児童館／鞘小ガールズ／ガールスカウト福岡県第23団
佐賀	8	28	佐賀市立嘉瀬公民館／東山代少年陸上少年消防クラブ／伊万里市黒川地区長尾子ども会／唐津市立成和小学校成和っ子クラブ／大町町立大町小学校福母班／大町町立大町小学校大町班／小城市立牛津小学校／唐津市立外町小学校
長崎	2	24	南島原市立深江小学校／佐世保市立春日小学校
熊本	3	15	ボーイスカウト八代第3団／水上村立湯山小学校／熊本市消防局(熊本市サバイバルキャンプ)
大分	5	13	佐伯児童館／吉野児童育成クラブ／佐伯市立直川小学校／大分市立豊府小学校／九重町立野矢小学校
宮崎	4	18	延岡市立北浦小学校／こぼと児童館／延岡市立延岡小学校／ゆりかご一ヶ岡保育園学童クラブ
鹿児島	2	18	奄美市立名瀬小学校／出水市立高尾野小学校
沖縄	42	70	石垣市立大本小学校／石垣市立明石小学校／浦添市立浦城っ子児童センター／石垣市立大浜小学校／沖縄市福祉文化プラザ児童センター／沖縄市あげだ児童館／大宮小学校／沖縄市古謝自治会コスモス子ども会／役所前児童クラブ・志茂田児童クラブ／若草児童センター／石垣市子どもセンター／糸満市立糸満南小学校／糸満がじゅまる児童センター／若狭児童館／久場川児童館／森の子児童センター／糸満市立光洋小学校／新小っ子うさちゃん／石垣市立野底小学校／こくらキッズ／学童クラブみなみ童夢／学童クラブネバーランド(新生デンジャラスボーイズ+ ONE)／なかよし学童／ひばり学童クラブ／糸満市立真壁小学校／おやこぼし学園／まちなと児童センターたけの子クラブ／古波蔵児童館／那覇市立城東小学校／学童ほいく竹の子クラブ／うるま市立具志川小学校・守れ！ぐしかわっ子／城辺学童保育クラブ／竹富町上原地区上原子子供会／宮城ヶ原児童センター／国頭村立北国小学校／内間児童センター／経塚児童センター／学童クラブちびっこらんど／国頭村立佐手小学校／浦添市立宮城っ子児童センター／那覇市立垣花小学校／ぼうさい探検隊

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動にご参加されています。

過・去・の・入・選・一・覧

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第6回～第10回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数 マップ数・児童数	第6回(2009年度) 297団体 (155校・142団体) 1,389作品 9,954名	第7回(2010年度) 317団体 (160校・157団体) 1,607作品 10,291名
文部科学大臣賞	浜松市立久留女木小学校 「チューチュー久留女木隊」 (3・4年生/静岡県)	宇和島市立蔭淵小学校 「蔭淵キッズ5」 (6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	三好市立佐野小学校 「佐野防災8」 (5・6年生/徳島県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2・4・6年生/三重県)
消防庁長官賞	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (1・2年生/長野県)	目黒消防少年団 「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」 (1・3・4年生/東京都)
まちのぼうさいキッズ賞	府中町少年少女消防クラブ 「府中町少年少女消防クラブ」 (3～5年生/広島県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2・3年生/福島県)
未来へのまちづくり賞	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこスマイルガールズ2009」 (4年生/滋賀県)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生/埼玉県)
わがまち再発見賞	高松市立栗林小学校 「みんな安心手だすけマスターズ」 (3年生/香川県)	高島市マキノ町辻区子供会 「つじっ子防災探検隊」 (1～6年生/滋賀県)
ぼうさい探検隊賞	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (5・6年生/三重県)	大崎市松山地域ぼうさい探検隊 「コスモロード」 (5・6年生/宮城県)
審査員特別賞	大崎市立三本木小学校防災探検隊 「三本木小学校防災探検隊」 (5年生/宮城県)	東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (4年生/茨城県)
	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生/埼玉県)	あわら市金津小学校 「金津っ子7」 (5年生/福井県)
	輪島市立鳳至小学校 「鳳至見守りキッズ」 (6年生/石川県)	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこぴょんぴょんスターズ2010」 (5年生/滋賀県)
	浜松市立伊平小学校 「伊平の安全守り隊」 (5・6年生/静岡県)	吹田市立桃山台小学校 「桃小安全キッズ」 (3年生/大阪府)
	美方広域消防本部 BFC 香美町立佐津小学校 「命を守る佐津っ子レスキュー隊」 (4年生/兵庫県)	かつらぎ町丁ノ町児童館 「ハッピーかつらぎっ子」 (6年生/和歌山県)
	愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 (5・6年生/愛媛県)	下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (1年生/山口県)
	四万十町立興津小学校 「マタサカナ」 (6年生/高知県)	高瀬少年消防クラブ 「高瀬少年消防クラブ」 (4年生/大分県)
	北九州市立広徳小学校 「広徳小学校4-1 2列」 (4年生/福岡県)	那覇市久場川児童館 「のびのびクラブ」 (2年生/沖縄県)





第8回(2011年度) 344団体 (158校・186団体) 1,643作品 10,791名	第9回(2012年度) 417団体 (213校・204団体) 2,018作品 13,477名	第10回(2013年度) 449団体 (179校・270団体) 2,191作品 13,728名
宇和島市立蔭淵小学校 「大島守り隊ガールズ」 (6年生/愛媛県)	愛南町立福浦小学校 「風の子ファイブ」 (6年生/愛媛県)	愛南町立福浦小学校 「風の子サポーターズ」 (5・6年生/愛媛県)
相馬市川原町児童センター 「みつばち・かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	玉川消防少年団 「玉川消防少年団ぼうさい探検隊」 (4～6年生/東京都)	宇和島市立蔭淵小学校 「矢が浜守り隊」 (5・6年生/愛媛県)
日本橋消防少年団 「阪本シスターズ」 (5年生/東京都)	高瀬少年消防クラブ 「6年生チーム」 (6年生/大分県)	札幌東月寒少年消防クラブ 「しらかばガールズ」 (5・6年生/北海道)
ガールスカウト日本連盟千葉県第3団 「ミラクルレインボー」 (5・6年生/千葉県)	那覇市立開南小学校 「いつでもどこでもえがおチーム」 (1年生/沖縄県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)
あわら市吉崎小学校 「吉崎赤手ガニ防災隊」 (4～6年生/福井県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)	宮古島市立上野小学校 「いみっちゃんフラワー」 (1・2年生/沖縄県)
那覇市久場川児童館 「いっぺいじょうとう」 (1年生/沖縄県)	大崎地域広域行政事務組合加美消防署 「宮城県カップのふるさと色麻町」 (5年生/宮城県)	みんなでまなぼうさい和歌山県美浜町中央公民館 「ひまわり防災探検隊」 (3～6年生/和歌山県)
別海町立上春別小学校 「上春キッズ探検隊」 (3年生/北海道)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「チームせんべい」 (5・6年生/埼玉県)	東温市立東谷小学校少年消防クラブ 「東谷少年消防クラブ」 (4～6年生/愛媛県)
東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (5年生/茨城県)	東京都立城南特別支援学校 「すずらんグループ」 (1～6年生/東京都)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (3年生/福島県)
日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (4～6年生/埼玉県)	あわら市本荘小学校 「本荘ガールズ8」 (5年生/福井県)	日立市立金沢小学校 「金沢元気キッズ」 (5年生/茨城県)
目黒消防少年団 「目黒消防少年団」 (1～6年生/東京都)	あわら市細呂木小学校 「細呂木マモルンジャー」 (5年生/福井県)	ガールスカウト千葉県第3団 「西船 KIDS」 (3・6年生/千葉県)
ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (3～5年生/長野県)	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブ」 (5・6年生/三重県)	東京都立城南特別支援学校 「城南すずらんグループ」 (1・2・4・6年生/東京都)
船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブまちなか探検隊」 (4～6年生/三重県)	かつらぎ町丁ノ町児童館 「かつらぎあんぜんキッズ」 (2年生/和歌山県)	平塚市立八幡小学校 「チーム・ハト」 (6年生/神奈川県)
城陽少年消防クラブ 「城陽少年消防クラブ」 (6年生/京都府)	下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (3年生/山口県)	かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 「チーム UTITAKA」 (6年生/石川県)
土佐清水市立下ノ加江小学校 「なかよし4人組」 (5年生/高知県)	宇和島市立蔭淵小学校 「防災キッズ6」 (6年生/愛媛県)	かほく市子ども会高松支部瀬戸町子ども会 「瀬戸町子ども会」 (1～6年生/石川県)
奄美市立大川小学校 「奄美大川防衛隊」 (5・6年生/鹿児島県)	四万十町立興津小学校 「興空」 (5・6年生/高知県)	小浜市立口名田小学校 「口名田小学校3年生」 (3年生/福井県)





これまでの11年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募をいただいている小学校・団体（11回のうち7回以上のご参加）は以下のとおりです。

応募回数	学校・団体名
11回連続	愛知県豊田市立足助小学校
10回	福島県相馬市川原町児童センター／東京都江戸川区立西小岩小学校／三重県鳥羽市安楽島子ども会
9回	岩手県盛岡市南仙北地区南仙北2.3丁目子ども会／神奈川県相模原市立富士見小学校／ ガールスカウト大阪府第21団
8回	東京都江戸川区立第六葛西小学校／東京都千代田区立麴町小学校ワーク・わく・クラブ／ 東京都大田区立洗足池小学校／茨城県坂東市立中川小学校／ガールスカウト神奈川県第53団／ 神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員連絡協議会岩井町原地区／ガールスカウト静岡県第34団／ 広島県府中町少年少女消防クラブ／高知県四万十町立興津小学校／長崎県南島原市立深江小学校
7回	北海道札幌市立桑園小学校／ボーイスカウト山形43団カブスカウト隊ビーバースカウト隊／ 東京都江東区立東川小学校／東京都葛飾区立青戸小学校／東京都日本橋消防少年団／ 千葉県船橋市立習志野台第一小学校／神奈川県森っ子ひろば（森の里地区地域子ども教室）／ 神奈川県厚木市立清水小学校／ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊／ 愛知県正木キッズファイヤーガード／愛知県飛島村子ども会／ 愛知県橘キッズファイヤーガード／京都府京都市立砂川小学校／ 香川県丸亀市立城辰小学校／宮崎県延岡市立延岡小学校／ 宮崎県社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご一ヶ岡保育園学童クラブ／ 鹿児島県出水市立高尾野小学校

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	共栄火災海上保険株式会社	トーア再保険株式会社
アイベット損害保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社	日新火災海上保険株式会社
アクサ損害保険株式会社	セコム損害保険株式会社	日本地震再保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社	ソニー損害保険株式会社	富士火災海上保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社	そんぼ24損害保険株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社	明治安田損害保険株式会社
a u 損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	

2015年4月現在（会員会社26社50音順）

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
（お問い合わせ）生活サービス部 TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236



かけがえない環境と安心を守るために
一般社団法人日本損害保険協会は
ISO14001を認証取得しています。

この冊子は再生紙を使用しています

